生涯学習がんばってます！

海の生物と触れ合い、自然の中で遊ぶ楽しさを学んだ男の子。
ドッジボールで勝つために様々な工夫や作戦を立てて、念願の優勝を勝ち取った男の子。
今回は生涯学習講座の「自然探検隊」と子ども会「ドッジボール大会」に参加された方の声を紹介します。

鉄ちゃんが教えてくれたとり方で一人でまて貝ゲット

豊山小四年　川﨑琉翔さん

ぼくは、はじめ鉄ちゃんのいる場所で、まて貝のとり方をおそわりました。そして、鉄ちゃん達がいる場所からはなれて、ちがう方向に行きました。それで、鉄ちゃんが言っていた方法で、まて貝をゲットすることにしました。

鉄ちゃんが言っていた、長方形の深い穴を見つけて、しおのかわりに、しお水を入れました。そして、ちょっと待ったら、まて貝が出てきました。なのでやさしくつかまえたらゲットできました。でももっちゃかったのでにがしてあげました。

「自分でとったぞ！」と、みんなに言いたかったので、もう一度つかまえようとしました。

次も、鉄ちゃんが教えてくれた方法でゲットすることにしました。次は、なかなか出てこなかったので、「ハズレだ」と思ってちがう場所をさがすことにしました。

そして、三度目は、鉄ちゃんのいた場所でゲットしようとしました。しかし次もなかなか出てこなかったので、「もしかしたら、二度目にほった場所にまて貝が出てるかも！」と思い行ってみました。そしたら、なんと！なんと！まて貝がいました。それで、ひっぱられてないうちにゲットして、みんなにじまんしました。

楽しかったのでまた鉄ちゃんとしぜんたんけんしたいと思いました。

チームワークと作戦

志水小六年　福本大稀さん

五月十日に豊山グランドで行われた子ども会のドッジボール大会に出場しました。ぼくは毎年ドッジボール大会を楽しみにしています。今年もドッジボール大会前に学校のほうかの時間で友達とドッジボールの練習をしました。低学年の時に準ゆう勝をしたので、ドッジボール大会が最後となってしまう、今回の大会で絶対にゆう勝をしたいと思っていました。チームメイトもゆう勝をねらえる友達どうしで集まっていたこともあり、一生けん命がんばりました。チームで話しあった作戦は、外野とのボールまわしや、ラインをふまない様に投げるために、コートの手前に線を引いて、ボールを投げる時にチームで決めた線からボールを投げる様にして、相手チームのボールにならない様にしました。チームワークと作戦がよくて決勝に進むことができました。決勝が始まる前にはチーム全員とお父さんお母さんが集まり円じんを組んで力強く「絶対にゆう勝するぞ！」と気合いを入れました。決勝戦はとてもきんちょうしましたが、多くの人が応えんしてくれたし、負けるわけにはいかないと思い、作戦どおりにみんなでがんばりました。ゆう勝が決まったしゅん間にチーム全員もお父さんもお母さんも応えんしてくれた友達もみんなで手を上にあげてよろこびました。小学生最後のドッジボール大会でゆう勝という結果を残せてとてもうれしかったです。

キッズレポート

空手とわたし

空手スポーツ少年団　伊藤涼香さん

わたしが空手に入った日は、一年生の春でした。体験をした時に、将来の役に立つと思い入りました。空手は、級によって帯の色が変わります。白帯の時は入団したてで、手足の基本しか集中していなかったと思います。だんだん級が上がり帯の色が変わるにつれ、試合の時に「勝つ」という意識が持てたと思います。空手でつらかった日は、緑帯になってからの形の動作です。形は手足の基本しかしっかりできていなかったので、すごく苦労しました。試合時では力が入りすぎてしまい、まだ金賞を取ったことがありません。試合に出ると、いつも負けてばかりで悔しい思いをしていましたが、今ではその悔しさを次の試合でいかすという気持ちなので、そこは自分の中で成長したと思います。

黒帯の段試験の時に、先生が「今まで練習したことをそのままやればいい」と言ってくださり、その言葉が自分自身につながり見事合格しました。現在、黒帯の練習はレベルが高く、自分がついていけているか心配です。

これから先は、自分にきびしくなるけど、それをのりこえて今まで学んできたことを、これからも試合などで出し切りたいです。日々の練習を大切に、もっともっと上を目指してほかの人に負けずにがんばります。

最後に、私にとって先生はかけがえのない存在です。先生がいたからこそ、ここまでこれたと思います。

このページについての問合せ
生涯学習課生涯学習係　☎28・0396